

相馬
ゆう

ゆうこの

南千住レポート

区議団控え室 荒川区荒川2-2-3区役所内5階 ☎3802-4627

FAX:3806-9246/メール:araicp@tcn-catv.ne.jp

相馬ゆうこ事務所 荒川区南千住5-1-6・2階

☎・FAX:3807-4192



まちづくり・
くらしの情報を
届けます

jcp-arakawakugidan.jp/
ツイッター @m1010_yuko
araken-nan.jugem.jp

西日本新聞 工事費高どまりで「見直し案」

2日(火)、西日暮里駅前再開発の「見直し案」について区議会委員会に報告がありました。最大地権者の荒川区やコンサルタントを含めた準備組合は、「今後も工事費が高止まり状況が続く見込み」として「特に工事費が高い地下駐車場を減らすなど、施設計画変更案」を提示しました(下図)。



参加事業者の
決定はこれから

来年度、再開発組合の設立予定ですが、いまだに、コンベンション施設や住宅、商業施設などの参加事業者の選定はこれからです。

※西日暮里駅前再開発計画(2.3条)は…

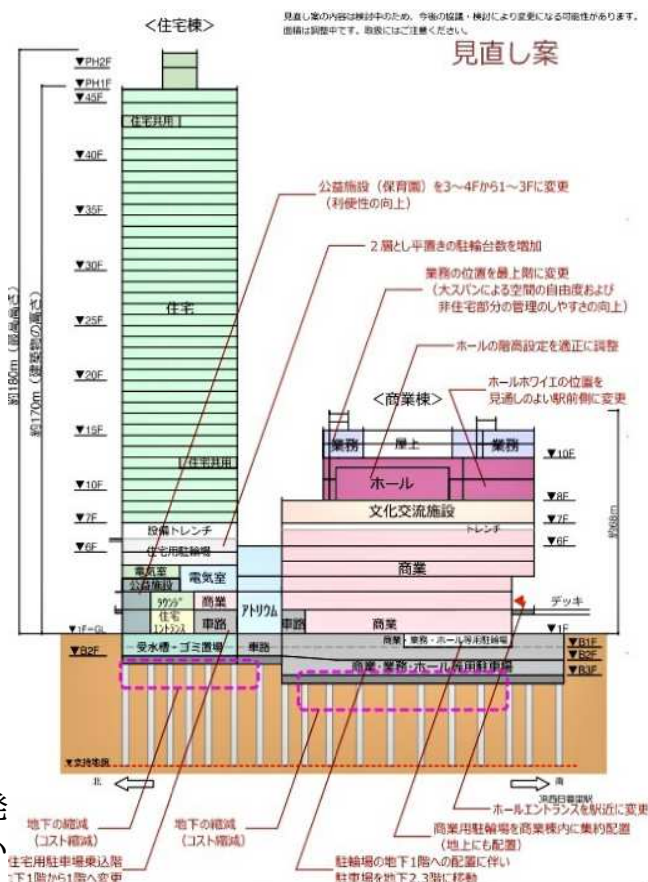
北千住ルミネ並みの商業施設と1,000戸の
タワーマンション（47階建て）、区の文化
交流施設と民間コンベンションホールを誘
致（当初の1500席大ホールは断念）。協力
事業者は野村不動産、三菱地所レジデンス
J V。総事業費1,000億円、国の補助金250
億円以上。

開発用地は、高齢者施設・保育園・学校跡地など区有地が大半を占めており、コロナ禍で開発のあり方や区民の合意が問われています。



みなさんの税金と区有地を使う再開発
計画ですが、内容を知らない区民が多い
のが実態です。コロナ感染拡大が続き、

工事経費も増大しているなかで、大ホール断念など見直しが繰り返されていますが、そもそも、区民の暮らしや区の活性化に役立つのか改めて問われています。



第7波感染拡大～発熱など20歳代に検査キット配布も

東京都は8/1(月)から、感染症状のある方に抗原定性検査キットの無料配布を開始。医療機関を受診する前に使用し、陽性の場合は「陽性者登録センター」に登録します。一日7万個を用意、当面「20代のみ」で、順次拡大予定です。



都は「医療機関への検査・受診の集中を緩和」のためとしていますが、陽性を確認し登録しても、自宅待機で薬の処方、治療はなし。PCRではなく抗原検査でよいのか、「市販薬で対応」というだけでよいのか、国の責任も問われます。「若者は軽症」といっても、人によっては重症化や後遺症もあります。大規模な発熱外来や必要な人がきちんと医療を受けられる体制づくりを求めたい。

区職員・区議会でも感染拡大 新型コロナの感染拡大で、区議会も7月22日に予定されていた建設・環境委員会が中止、8月2日(火)に改めて開会。3日(水)は文教子育て委員会、8日(月)は健康・危機管理委員会が、それぞれ臨時開会となりました。委員会の審議内容は、改めてお知らせしたいと思います。



保健所の応援体制は また、区職員の感染も7月の1か月間で125名にのぼりました。区は第7波への対応として「保健所へ全庁から総勢200名を超える応援体制を整えた」としてしていますが、感染者の急増で職員体制が維持できるのか、区民サービスへの影響も心配です。



お盆の休日診療



	昼	夜	科目	医療機関名	所在地	☎
8月11日(祝)	○	×	内・外	木村病院	南千住1-1-1	5615-2111
	○		内・小	南千住つのだ医院	南千住6-65-12	3802-0023
	○		内・外	みかわしまタワークリニック	東日暮里6-1-1	3806-1133
	○	×	内	小林医院	西日暮里4-16-10	3821-3846
13日(土)	×	○	内	上智クリニック	町屋4-9-10	3892-4514
	×	○	整	久富整形外科クリニック	東日暮里6-43-3	3803-8888
14日(日)	○		内・小	金子医院	南千住6-47-11	3891-2945
	○		内	サン内科循環器クリニック	荒川4-1-1	5604-9271
	○	×	内・小	大泉クリニック	荒川6-41-4	3895-7231
	○		内	小堀クリニック	西日暮里5-11-8	3805-8181
20日(土)	×	○	内・小	武田内科小児科クリニック	町屋8-7-2	3892-5324
	×	○	内・小	春田内科医院	東日暮里6-50-14	3891-1062

〈法律・生活相談〉

8月の定例法律相談日は お休みです

ご要望やご相談などは随時ご連絡ください。事務所での毎月第二木曜日の定例法律相談は、お休みですが、平日の午後に法律事務所(北千住)でも可能です。

お名前、電話番号等を下記の留守番電話に録音して下さい。

相馬 ゆうこ事務所 南千住5-1-6-2階 ☎3807-4192



「区立幼稚園・こども園の廃止、なにが問題？」

「荒川区で保育園に通わせる子を持つ親ですが、何に問題があるのかが良くわかりません。…幼稚園児の減少(保育園児の増加)、共働き世帯の増加に伴って扶養控除廃止への過渡期中、具体的に困るのは誰なのか?…区の素案だけでは判断できないなあと感じました。」

「財務・人員等数値化した閉園による功罪を素案に提示してほしい、素案の情報不足からも議論の期間が短すぎる」



議論を重ねず性急にすすめていること、預り

保育や給食の実施を後回しにした「廃止ありき」の方針に、保護者からも見直しをもとめる声が上がっています。また、区教委が具体的な根拠を示さずに進めていることも問題です。

区立も私立も 区内に充実を

現在、区内3～5歳児の約3割が幼稚園を利用、そのうちの3割は区外通園です。

幼稚園の通園状況(2022)

区立 (こども園含む)	335名
私立	区内 673名 区外 479名
合計	1,487名

約3割が区外に！

区の家では、南千住地域は私立園ゼロ、公立3園→1園だけになってしまいます。災害時の安全を考えても身近な地域に幼稚園を配置し、区立・私立とも保育の充実を図るべきです。私立園もなく、区財政のコストカットで区立園を廃止してしまっ、本当にいいのでしょうか。

同時に、保育同様、教育施設もこれまでの大規模・詰め込み型から小規模でゆとりのある環境へ転換が必要です。この間、区立園の1クラス定員は25→35人に拡大されてきましたが、定員見直しや余裕教室で医療的ケア児の受け入れを行うなど、いまでも工夫の余地もあります。廃止で直接的に困るのは子どもや保護者、教職員です。また、区立施設とよりよい保育は、区民の財産として、これからのまちづくりを考える上でも、大切にすべきと思います。



「廃止の見直しを求める」署名にご協力お願いします

「区の『素案』を見直してほしい」という保護者の方々が署名を開始。日本共産党区議団も賛同し、協力しています。レポートに署名と返信用封筒を折り込んでいますので、地域のみなさんのご協力、どうかよろしくお願いします。

荒川区の教育と未来を いっしょに考えてみませんか

8月28日(日)10:00～

@「ふらっとにつぼり」
講師をお招きして質問&
トーク、託児もあります。
ぜひご参加下さい！



ご意見いただきました。

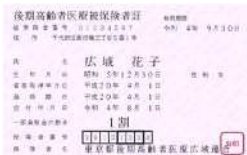
区の「素案」は、2026年度いっぱい
で現在の8園→4
園に減らし、さら
に汐入こども園の
短・中時間も廃止
する案です(下表)。

	現在	区の家
瑞光 地区	南千住第二	実施
	南千住第三	廃止
	汐入こども園 (短・中時間)	廃止
峡田 地区	町屋	廃止
	花の木	実施
	(私立) ・黒川 ・ワタナベ ・友の季ひまわり	—
尾久 地区	尾久	廃止
	尾久第二	実施
	(私) ・北豊島	—
日暮里 地区	日暮里	実施
	東日暮里	廃止
	(私) ・真成 ・道灌山	—

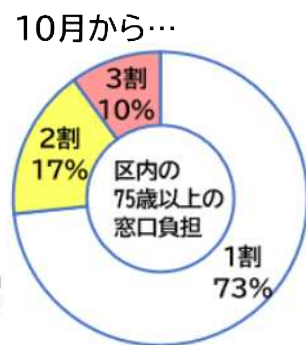
(区の資料から作成)

後期高齢者保険証が届いています～10月から窓口負担が2割に

後期高齢者の医療保険者証が届いています。通常は2年ごとに更新ですが、今回の有効期限は「2022年9月30日まで」？ 2か月しかありません。10月からの制度改定により一部の医療費の窓口負担が1割→2割に引き上げとなるため、9月に再び、全員に新しい保険証を発行するようです。全員分の再発行で、区の持ち出しは約1000万円。全体では一体どのくらいの額が余分にかかっているのでしょうか。



区内4,000人が 1割→2割負担に 現在、区内の75歳以上のうち、10%の2,400人が「3割負担」、90%が「1割負担」です。2割負担の対象となる人は「単身世帯で年収200万円以上、夫婦世帯320万円以上」で、区内では全体の17%にあたる4,000人が「2割負担」に。政府は「負担能力がある」としていますが、収入が限られ、病気やけがの頻度が高い高齢者にとっては1割負担も決して軽くありません。年収に対する窓口負担割合でみると、75歳以上は40～50代の2～6倍近い負担をしているのが実態です。いまでも経済的理由で受診をためらう高齢者が少なくない中で、「2倍化」の深刻な影響は計り知れません。



あらかわeスポーツパーク (老人福祉センター) 実施中

「eスポーツ」って？



「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲームなどの対戦のこと。若者を中心に世界的に人気ですが、最近では高齢者や障がい者でも気軽に参加できる健康づくりとしても注目されています。

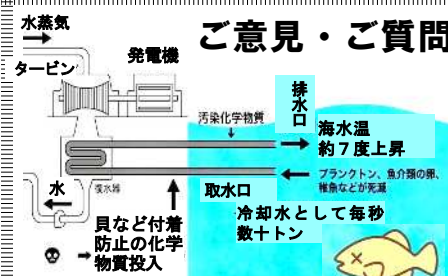
高齢者向けの「あらかわeスポーツパーク」が、老人福祉センターで実施中です。お子さんも60歳以上の方と一緒に参加可能。お孫さんと一緒に行かれてみてはどうでしょうか。

体験ゲームは、ボウリング、ダーツ、マシンレース、リズム太鼓など。さあ、体を動かしてみましようか。



時間	場所
8月8日(月) 14～16時	1階食堂
12日(金) 10～12時	4階会議室
16日(火) 14～16時	1階食堂
26日(金) 10～12時	4階会議室
30日(火) 10～12時	4階会議室

※場所は、さくらバス「千住間道西」から徒歩5分。(荒川1-34-6)



ご意見・ご質問 頂きました

○「石炭火力発電は、海を温める装置です。発電で発生する熱を海水で冷やし、温排水を海に流す構造です。そのために海水温は7～10度上昇。さらに、プランクトンなどを排除するために化学物質も投入された排水です」「こんなシステムを使わずに再生エネルギーに切り替えて」とNPO 法人気候危機対策ネットワークから情報提供です。

